

6.1 主要諸元

3つ折れ超ロングアタッチメント仕様/セパレートブーム仕様

本体型式	SK550DLC-9				
仕様	3つ折れ超ロングアタッチメント仕様		セパレートブーム仕様		バックホウ仕様
	6.1mアーム仕様	8.7mアーム仕様	基本ジブシリンダ仕様	大径ジブシリンダ仕様	

●寸法

本体全長	19,790mm	19,790mm	14,420mm	12,310mm
本体全幅	2,990mm			
上部本体全幅	2,980mm			
クローラ全幅	最伸時3,480mm/最縮時2,980mm			
本体全高	3,500mm			

●運転質量

質量	59,600kg	60,100kg	61,000kg	61,500kg	59,600kg
接地圧(JIS A8403-2)	102kPa	103kPa	105kPa	105kPa	102kPa

●機械質量

機械質量(破碎機除く)	57,000kg	57,500kg	55,700kg	56,200kg	54,300kg
本体質量	44,100kg	44,100kg	44,100kg	44,100kg	44,100kg
フルアタッチメント質量	12,800kg	13,400kg	11,600kg	12,100kg	10,200kg

●性能

最大作業高さ (アーム先端ピン)	24,990mm	27,530mm	14,620mm	最大掘削半径 12,080
最大作業半径 (アーム先端ピン)	縦向 15,500mm 横向 12,500mm	縦向 15,500mm 横向 13,500mm	縦向 11,200mm 横向 9,200mm	最大掘削深さ 7,390
旋回速度	4.0min ⁻¹		7.8min ⁻¹	
走行速度	5.4/3.4km/h			

●エンジン

型式	日野 P11C-VC
種類	インタークーラターボ付直接噴射式ディーゼル
定格出力	257kW/1,850min ⁻¹

●フロントアタッチメント

名称	油圧圧碎機 KR1100TPR-2	油圧圧碎機 KR1500TPR-50	バケット
最大開口幅	1,100mm	1,530mm	山積容量1.9m ³
質量	2,500kg	3,100kg	2,150kg

[6. 仕様編]

補足説明

- ・単位は国際単位系のSI表示です。
 - ・運転質量は油圧圧砕機を含んだ質量です。
 - ・機械質量・フルアタッチメント質量は油圧圧砕機が含まれていません。
-
-

警告

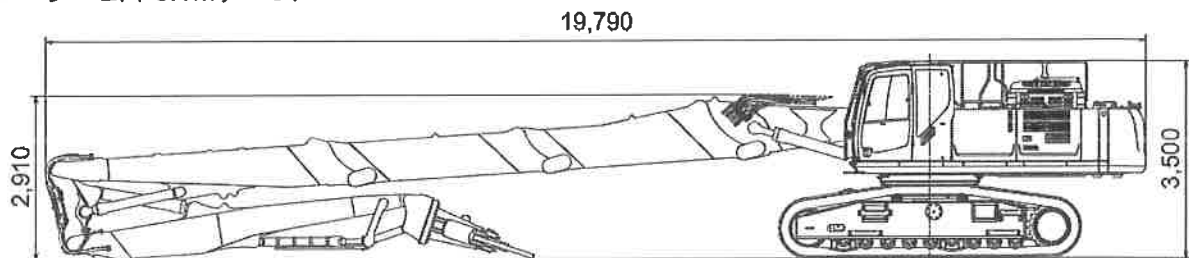
- ・油圧圧砕機の最大制限質量は3つ折れ超ロングアタッチメントで2,600kg、セパレートブーム仕様/バックホウ仕様で5,300kgです。最大制限質量を超える油圧圧砕機やブレーカ、バケットの装着は行わないでください。
-
-

6.2 外形寸法

6.2.1 3つ折れ超ロングアタッチメント仕様

3つ折れ超ロングアタッチメント仕様 (6.1mアーム仕様)

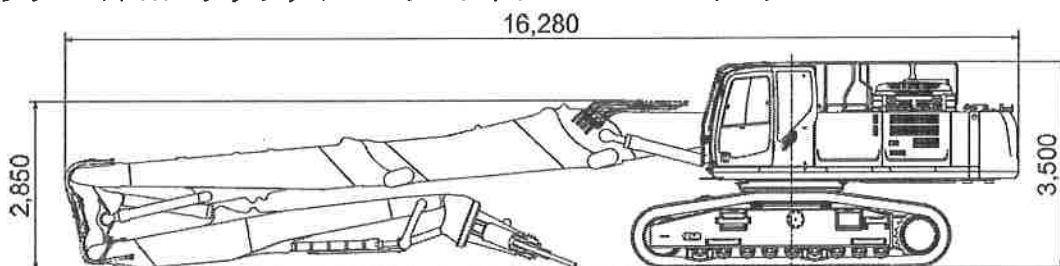
3.95mメインブーム+3.5mアダプタ+3.5mインサートブーム+4.8mフロントブーム+1.35mインターブーム+6.1mアーム



LS15Z00368P1(1/4)

3つ折れ超ロングアタッチメント仕様 (6.1mアーム仕様)

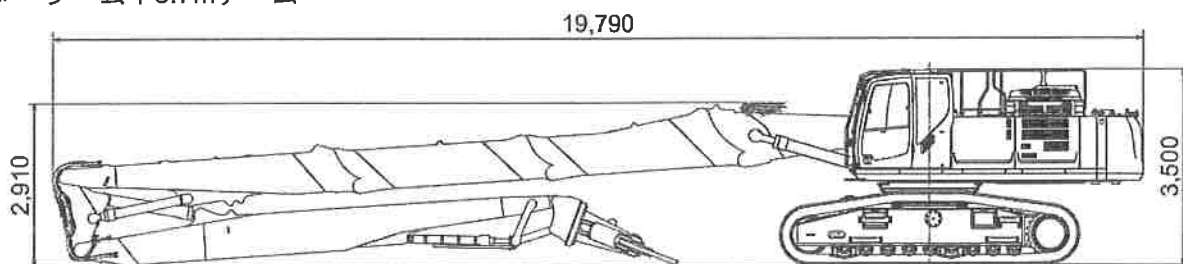
3.95mメインブーム+3.5mアダプタ+4.8mフロントブーム+1.35mインターブーム+6.1mアーム



LS15Z00368P1(2/4)

3つ折れ超ロングアタッチメント仕様 (8.7mアーム仕様)

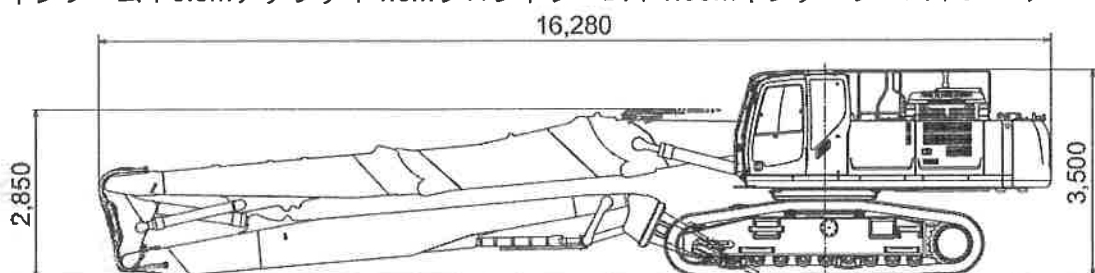
3.95mメインブーム+3.5mアダプタ+3.5mインサートブーム+4.8mフロントブーム+1.35mインターブーム+8.7mアーム



LS15Z00367P1(1/4)

3つ折れ超ロングアタッチメント仕様 (8.7mアーム仕様)

3.95mメインブーム+3.5mアダプタ+4.8mフロントブーム+1.35mインターブーム+8.7mアーム

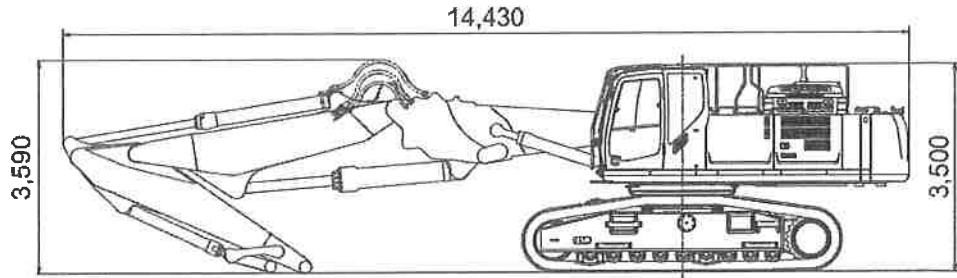


LS15Z00367P1(2/4)

6.2.2 セパレートブーム仕様

セパレートブーム仕様

3.95mメインブーム+0.75mフロントブーム+4.5mフロントブーム+3.45mアーム

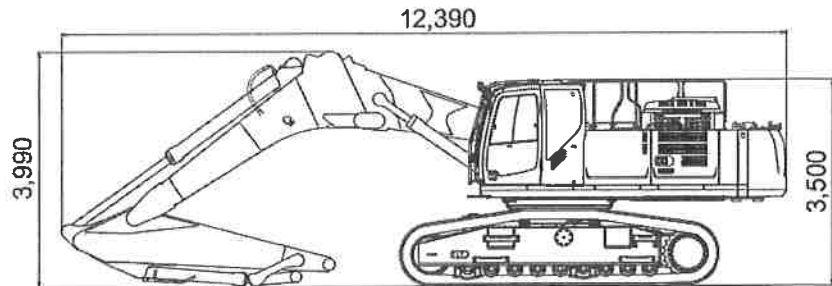


LS15Z00369P1(1/6)

6.2.3 バックハウ仕様

バックハウ仕様

3.95mメインブーム+4.1mフロントブーム+3.45mアーム



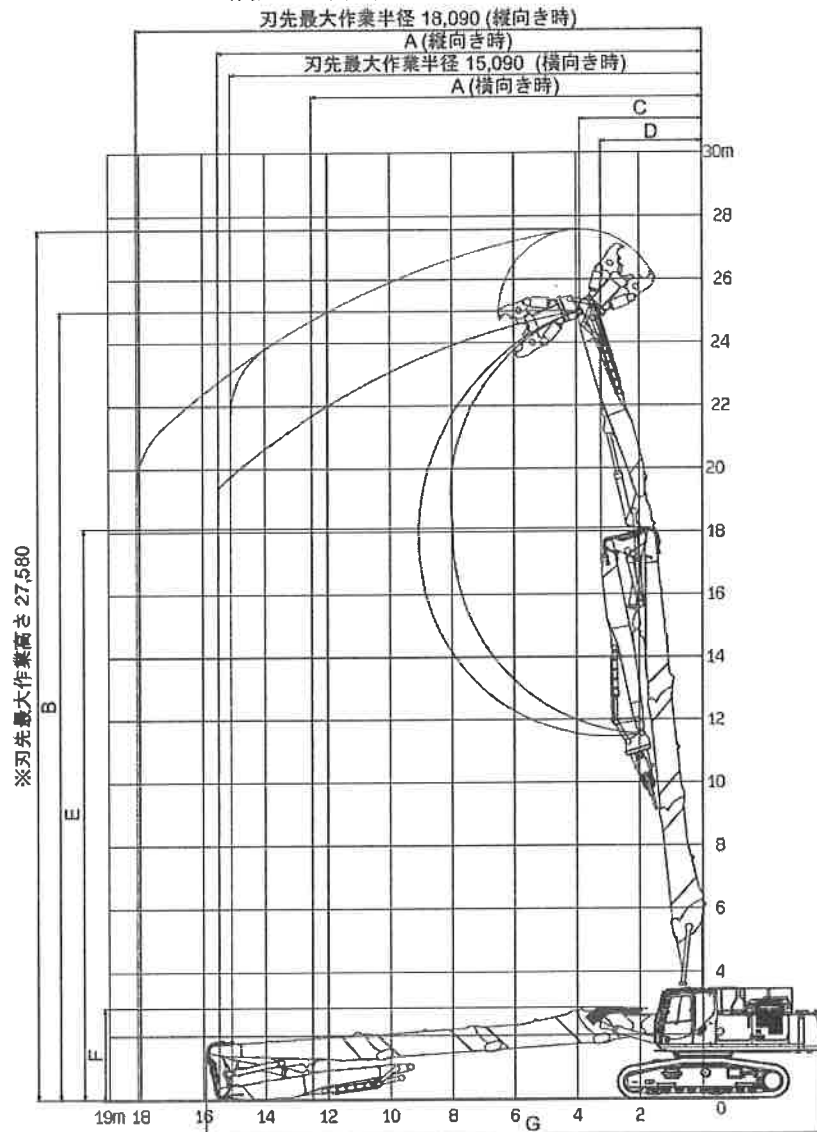
LS15Z00401P1

6.3 作業範囲図

6.3.1 3つ折れ超ロングアタッチメント仕様

3つ折れ超ロングアタッチメント仕様 (6.1mアーム仕様)

3.95mメインブーム+3.5mアダプタ+3.5mインサートブーム+4.8mフロントブーム+1.35mインターブーム+6.1mアーム+KR1100TPR-2油圧圧砕機付き



LS11Z00507P1 (1/2)

単位: mm

	名称	仕様値
A	最大作業半径 (縦向き時) (mm)	12500
	最大作業半径 (横向き時) (mm)	15500
※ B	最大作業高さ (mm)	24990
C	最大作業高さ時半径 (mm)	3880
D	フロント最小旋回半径 (mm)	3200
※ E	フロント最小旋回高さ (mm)	18100
F	旋回姿勢時高さ (mm)	2910
G	格納姿勢時長さ (mm)	19780
	圧砕機総質量 (kg)	2600

警告

- 作業前には必ずマルチディスプレイに作業半径が表示されていることを確認してください。
- 作業半径が表示されない場合は転倒警報が作動せず機械転倒のおそれがあります。

注意

LMN 使用上の注意

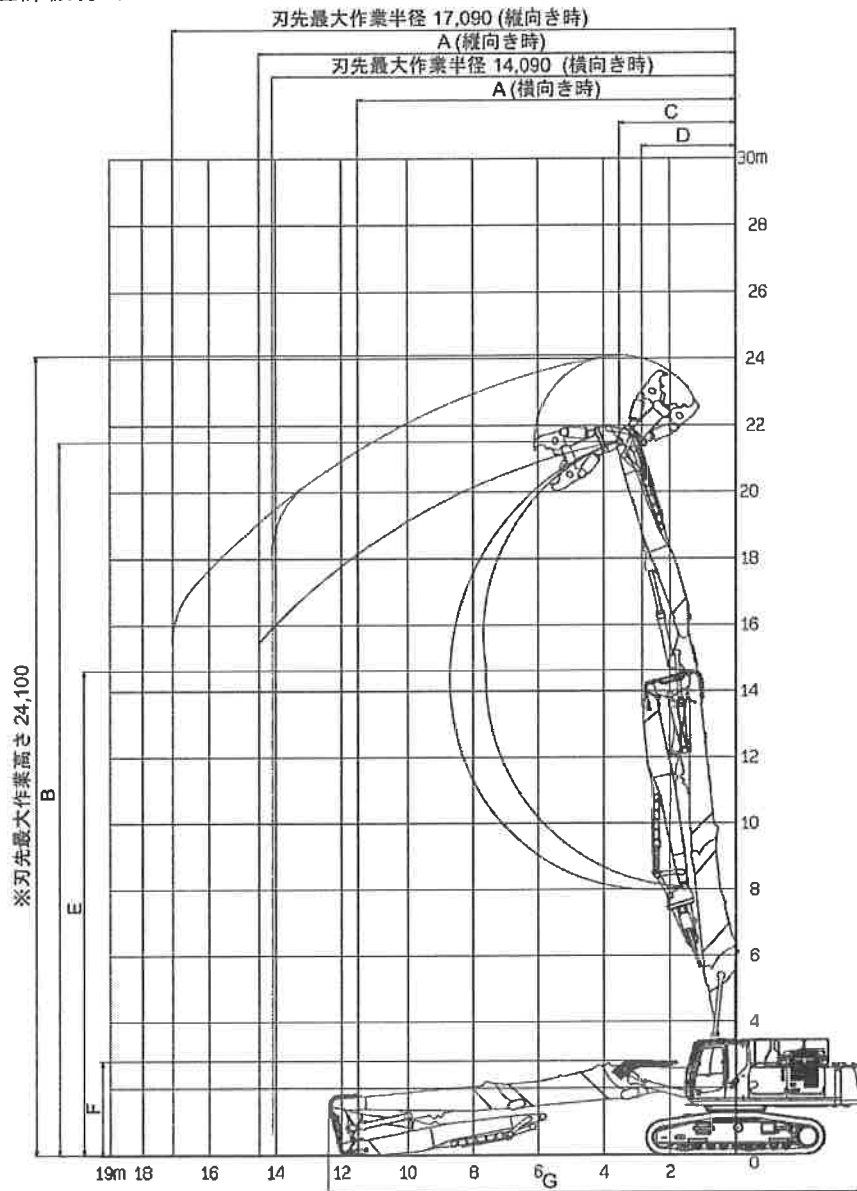
- 作業可能半径内で使用してください。
- アタッチメントの起伏作業
 - 組立はクローラ前後方向で行ってください。
 - アタッチメントを起す時は最下のブームシリンダから順に伸ばしてください。
 - アタッチメントを格納する時は、最上の油圧圧砕機シリンダから順に縮めてください。

補足説明

- ※印は、シュー突起36mmを含まない数値を示します。
- 斜線部はキャブ干渉警報装置の警報域を示します。

[6. 仕様編]

3つ折れ超ロングアタッチメント仕様 (6.1mアーム仕様, インサート抜き)
 3.95mメインブーム+3.5mアダプタ+4.8mフロントブーム+1.35mインターブーム+6.1mアーム
 +KR1100TPR-2油圧圧砕機付き



LS11Z00507P1 (2/2)

単位: mm

	名 称	仕様値
A	最大作業半径 (縦向き時) (mm)	11500
	最大作業半径 (横向き時) (mm)	14500
※ B	最大作業高さ (mm)	21510
C	最大作業高さ時半径 (mm)	3520
D	フロント最小旋回半径 (mm)	2840
※ E	フロント最小旋回時高さ (mm)	14620
F	格納姿勢時高さ (mm)	2850
G	格納姿勢時長さ (mm)	16250
	圧砕機総重量 (kg)	2600

警告

- 作業前には必ずマルチディスプレイに作業半径が表示されていることを確認してください。
- 作業半径が表示されない場合は転倒警報が作動せず機械転倒のおそれがあります。

注意

LMN 使用上の注意

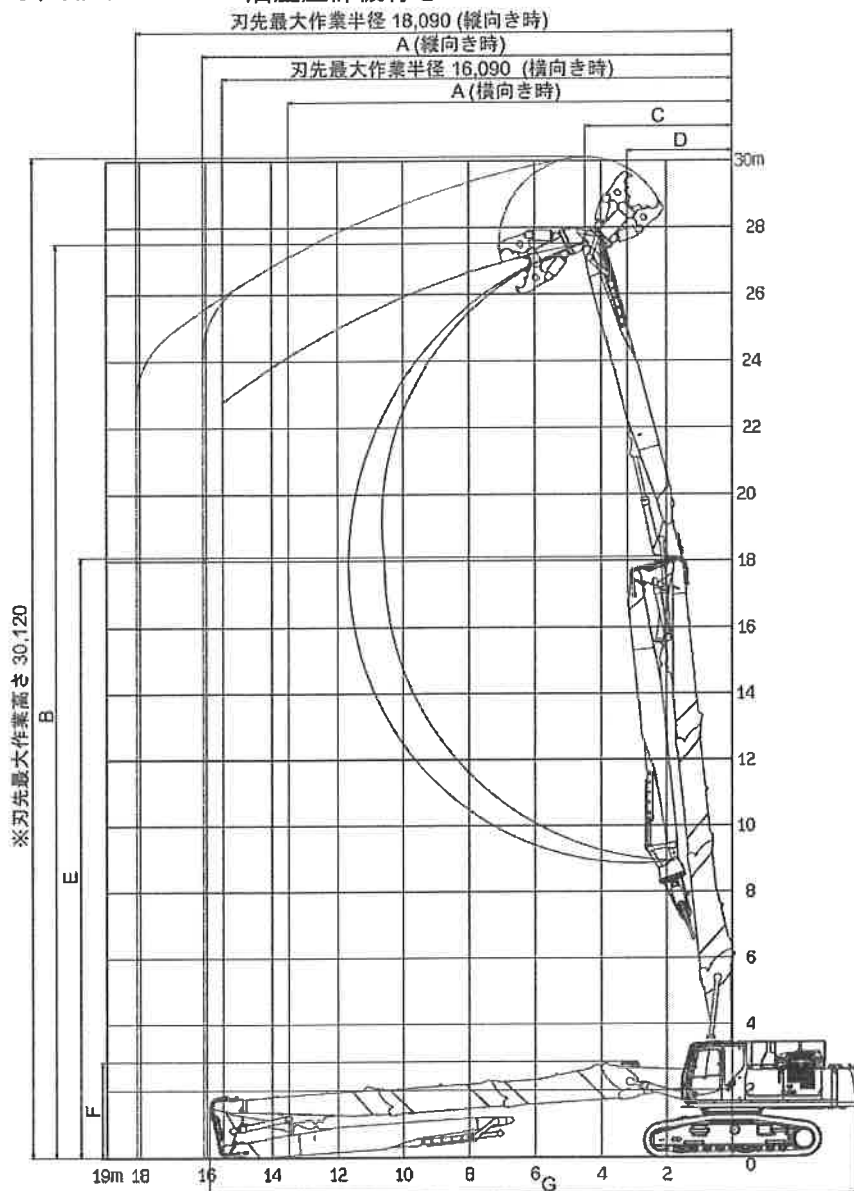
- 作業可能半径内で使用してください。
- アタッチメントの起伏作業
 - 組立はクローラ前後方向で行ってください。
 - アタッチメントを起す時は最下のブームシリンダから順に伸ばしてください。
 - アタッチメントを格納する時は、最上の油圧圧砕機シリンダから順に縮めてください。

補足説明

- ※印は、シュー突起36mmを含まない数値を示します。
- 斜線部はキャブ干渉警報装置の警報域を示します。

3つ折れ超ロングアタッチメント仕様 (8.7mアーム仕様)

3.95mメインブーム+3.5mアダプタ+3.5mインサートブーム+4.8mフロントブーム+1.35mインターブーム+8.7mアーム+KR1100TPR-2油圧圧砕機付き



LS11Z00508P1 (1/2)

単位: mm

	名称	仕様値
A	最大作業半径(縦向き時)(mm)	13500
A	最大作業半径(横向き時)(mm)	15500
※ B	最大作業高さ(mm)	27530
C	最大作業高さ時半径(mm)	4480
※ D	フロント最小旋回半径(mm)	3200
※ E	フロント最小旋回時高さ(mm)	18100
F	格納姿勢時高さ(mm)	2910
G	格納姿勢時長さ(mm)	19760
	圧砕機制限質量(kg)	2600

警告

- 作業前には必ずマルチディスプレイに作業半径が表示されていることを確認してください。
- 作業半径が表示されない場合は転倒警報が作動せず機械転倒のおそれがあります。

注意

LMN 使用上の注意

- 作業可能半径内で使用してください。
- アタッチメントの起伏作業
 - 組立はクローラ前後方向で行ってください。
 - アタッチメントを起す時は最下のブームシリンダから順に伸ばしてください。
 - アタッチメントを格納する時は、最上の油圧圧砕機シリンダから順に縮めてください。

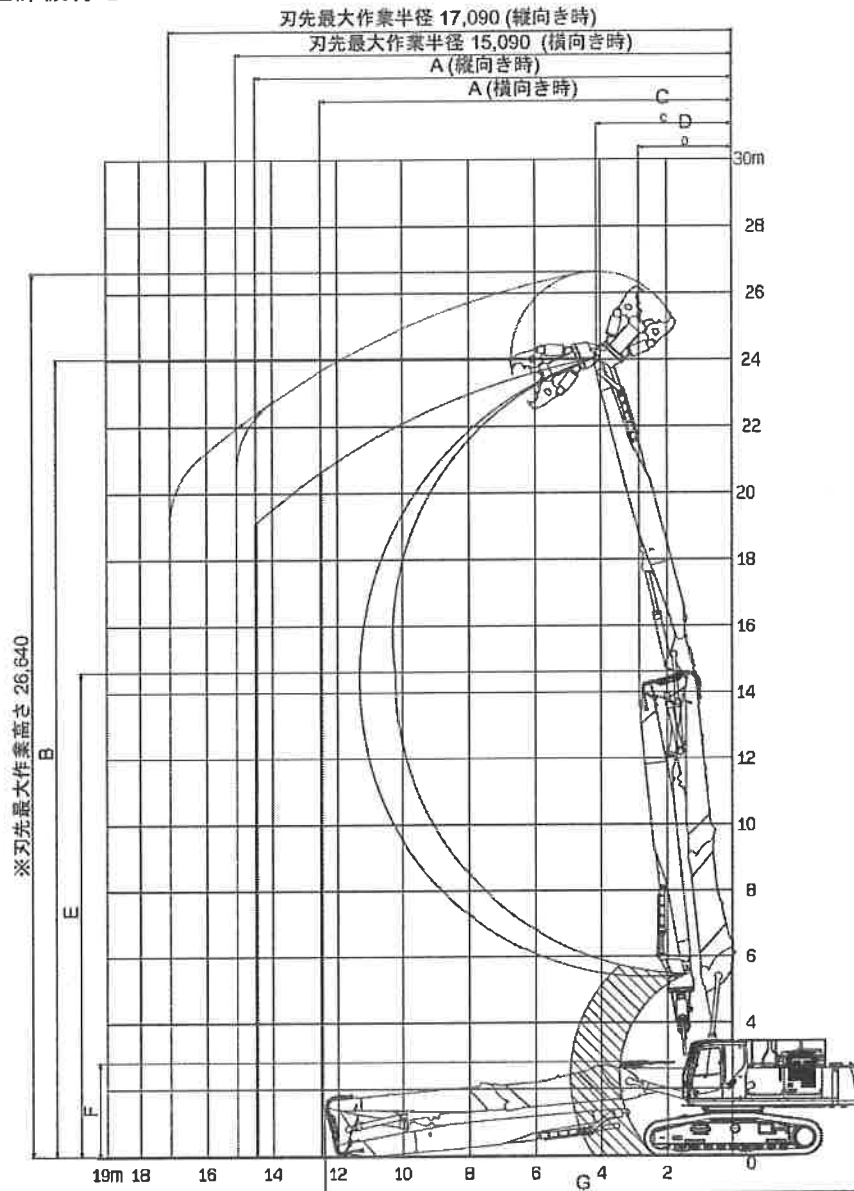
補足説明

- ※印は、シュー突起36mmを含まない数値を示します。
- 斜線部はキャブ干渉警報装置の警報域を示します。



[6. 仕様編]

3つ折れ超ロングアタッチメント仕様 (8.7mアーム仕様, インサート抜き)
 3.95mメインブーム+3.5mアダプタ+4.8mフロントブーム+1.35mインターブーム+8.7mアーム
 +KR1100TPR-2油圧圧碎機付き



LS11Z00508P1 (2/2)

単位: mm

名 称	仕 様 値
A	最大作業半径(横向き時)(mm) 12500 最大作業半径(縦向き時)(mm) 14500
※ B	最大作業高さ(mm) 24040
C	最大作業高さ(mm) 4120
D	フロント最小旋回半径(mm) 2840
※ E	フロント最小旋回高さ(mm) 14620
F	格納姿勢高さ(mm) 2850
G	格納姿勢長さ(mm) 16250
	圧碎機最大荷重(kg) 2600

警告

- 作業前には必ずマルチディスプレイに作業半径が表示されていることを確認してください。
- 作業半径が表示されない場合は転倒警報が作動せず機械転倒のおそれがあります。

注意

LMN 使用上の注意

- 作業可能半径内で使用してください。
- アタッチメントの起伏作業
 - 組立はクローラ前後方向で行ってください。
 - アタッチメントを起す時は最下のブームシリンドラから順に伸ばしてください。
 - アタッチメントを格納する時は、最上の油圧圧碎機シリンドラから順に縮めてください。

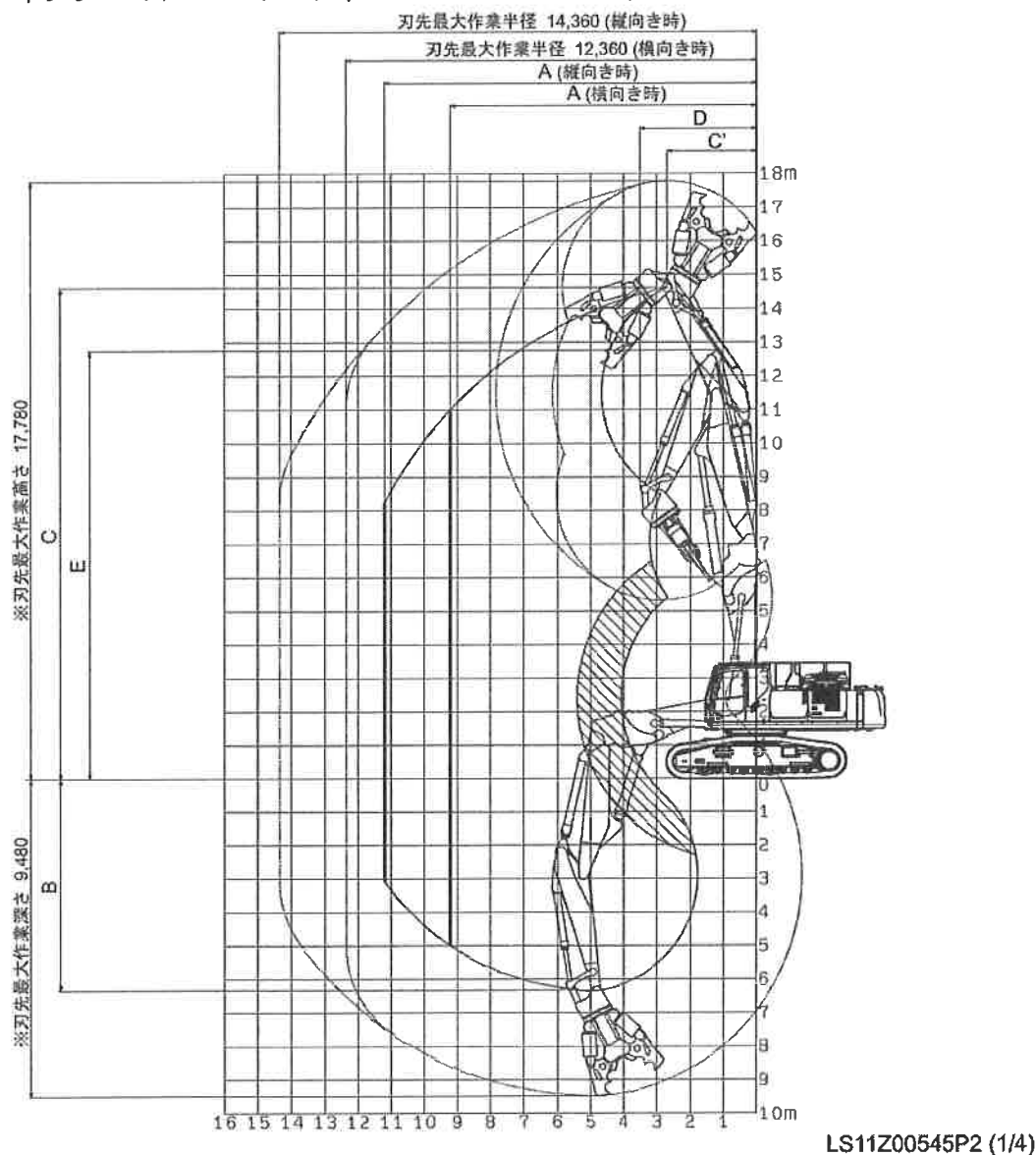
補足説明

- ※印は、シュー突起36mmを含まない数値を示します。
- 斜線部はキャブ干渉警報装置の警報域を示します。

6.3.2 セパレートブーム仕様

セパレートブーム仕様（基本ジブシリンダ仕様）

3.95mメインブーム+0.75mフロントブーム+4.5mフロントブーム+3.45mアーム+KR1500TPR-50



		単位:mm
	名 称	仕 様 値
	A 最大作業半径(縦向き時)	11200
	A 最大作業半径(横向き時)	9200
※	B 最大作業高さ(mm)	6330
※	C 最大作業高さ(mm)	14620
	C' 最大作業高さ前半径(mm)	2890
	D フロント最小旋回半径(mm)	3500
※	E フロント最小旋回高さ(mm)	12760
	圧鉄機脚間距離(kg)	5300

警告

- ・作業前には必ずマルチディスプレイに作業半径が表示されていることを確認してください。
- ・作業半径が表示されない場合は転倒警報が作動せず機械転倒のおそれがあります。

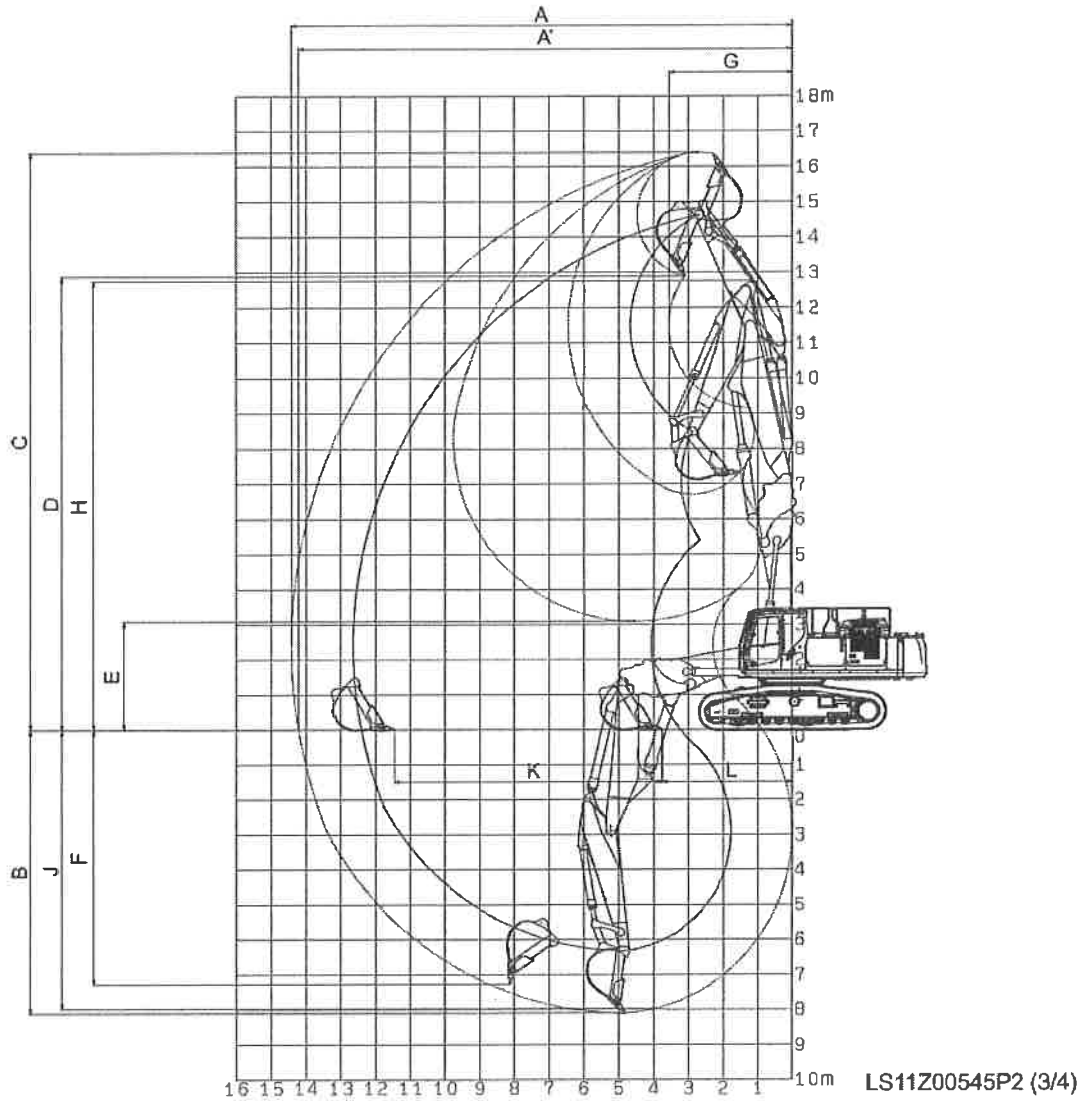
補足説明

- ・※印は、シュー突起36mmを含まない数値を示します。
- ・斜線部はキャブ干渉警報装置の警報域を示します。
- ・最大作業半径（JIS A8340-4 付属書JC 長尺作業装置付き油圧ショベルの要求事項）は、作業範囲制限アラームの警告ブザーが連続吹鳴しない条件において、最も作業半径が大きくなるものを示します。
- ・姿勢によって安定度が異なるため、最大作業半径の内側でも警告ブザーが吹鳴する場合があります。

[6. 仕様編]

セパレートブーム仕様（基本ジブシリンダ仕様）

3.95mメインブーム+0.75mフロントブーム+4.5mフロントブーム+3.45mアーム+1.9m³HDバケット



LS11Z00545P2 (3/4)

単位: mm

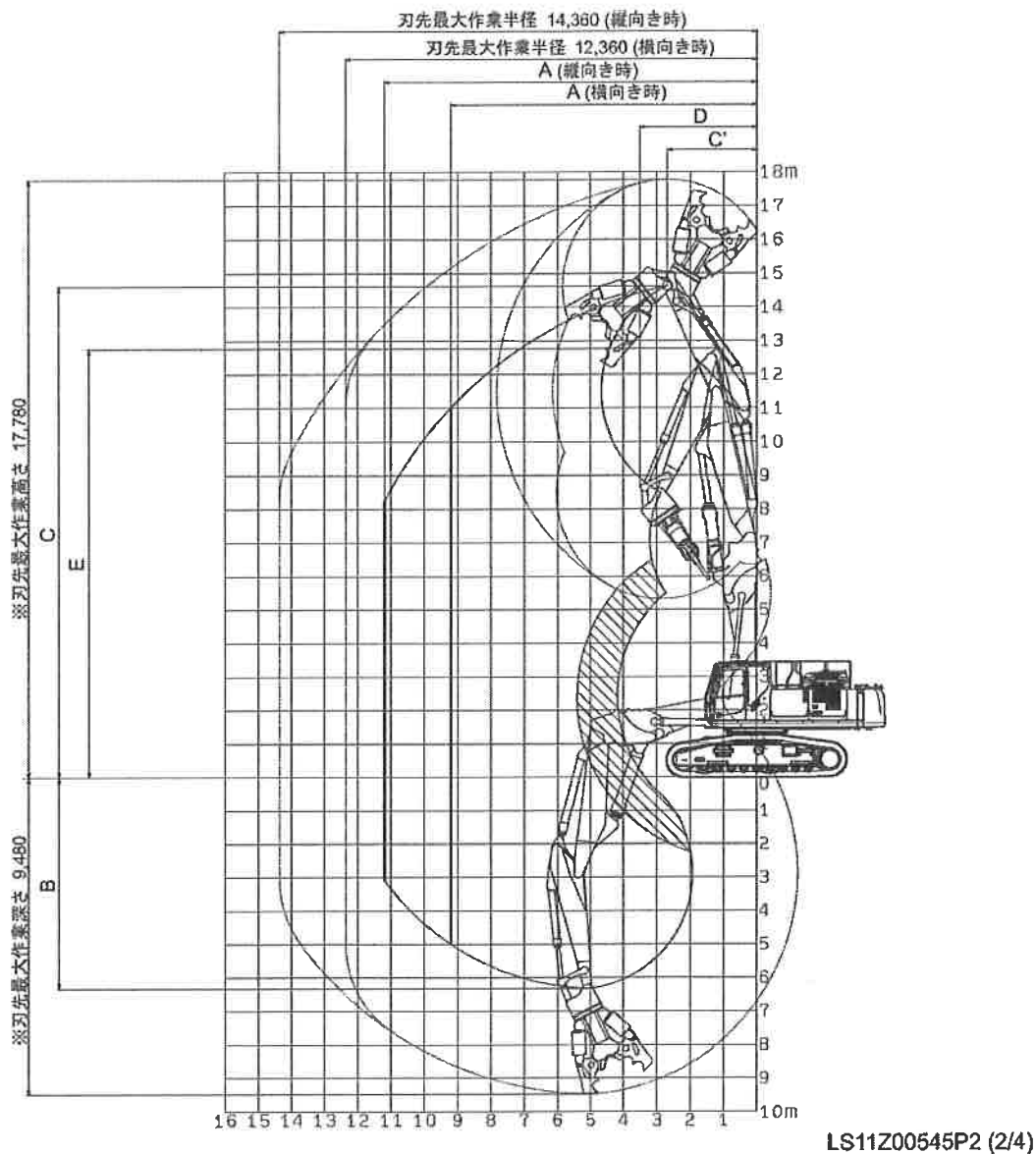
名 称	仕 様 値		
A	最大掘削半径	14420	
A'	床面最大掘削半径	14210	
B	最大掘削深さ	8110	
C	最大掘削高さ	16400	
D	最大ダンプ高さ	12890	
E	最小ダンプ高さ	3090	
F	垂直掘深さ	7270	
G	フロント最小旋回半径	3550	
H	最小旋回時高さ	12760	
J	8フィートレベル掘削深さ	7980	
K	水平掘削距離	ストローク	7700
		最小値	3750

補足説明

- ・※印は、シュー突起36mmを含まない数値を示します。
- ・斜線部はキャブ干渉警報装置の警報域を示します。

セパレートブーム仕様 (大径ジブシリンダ仕様)

3.95mメインブーム+0.75mフロントブーム+4.5mフロントブーム+3.45mアーム+KR1500TPR-50



		単位:mm
	名 称	仕 様 値
	最大作業半径(縦向き時)	11200
A	最大作業半径(横向き時)	9200
※ B	最大作業深さ(mm)	6320
※ C	最大作業高さ(mm)	14620
C'	最大作業高さ時半径(mm)	2690
D	フロント最小旋回半径(mm)	3500
※ E	フロント最小旋回高さ(mm)	12760
	圧縮機動機質量(kg)	5300

警告

- ・作業前には必ずマルチディスプレイに作業半径が表示されていることを確認してください。
- ・作業半径が表示されない場合は転倒警報が作動せず機械転倒のおそれがあります。

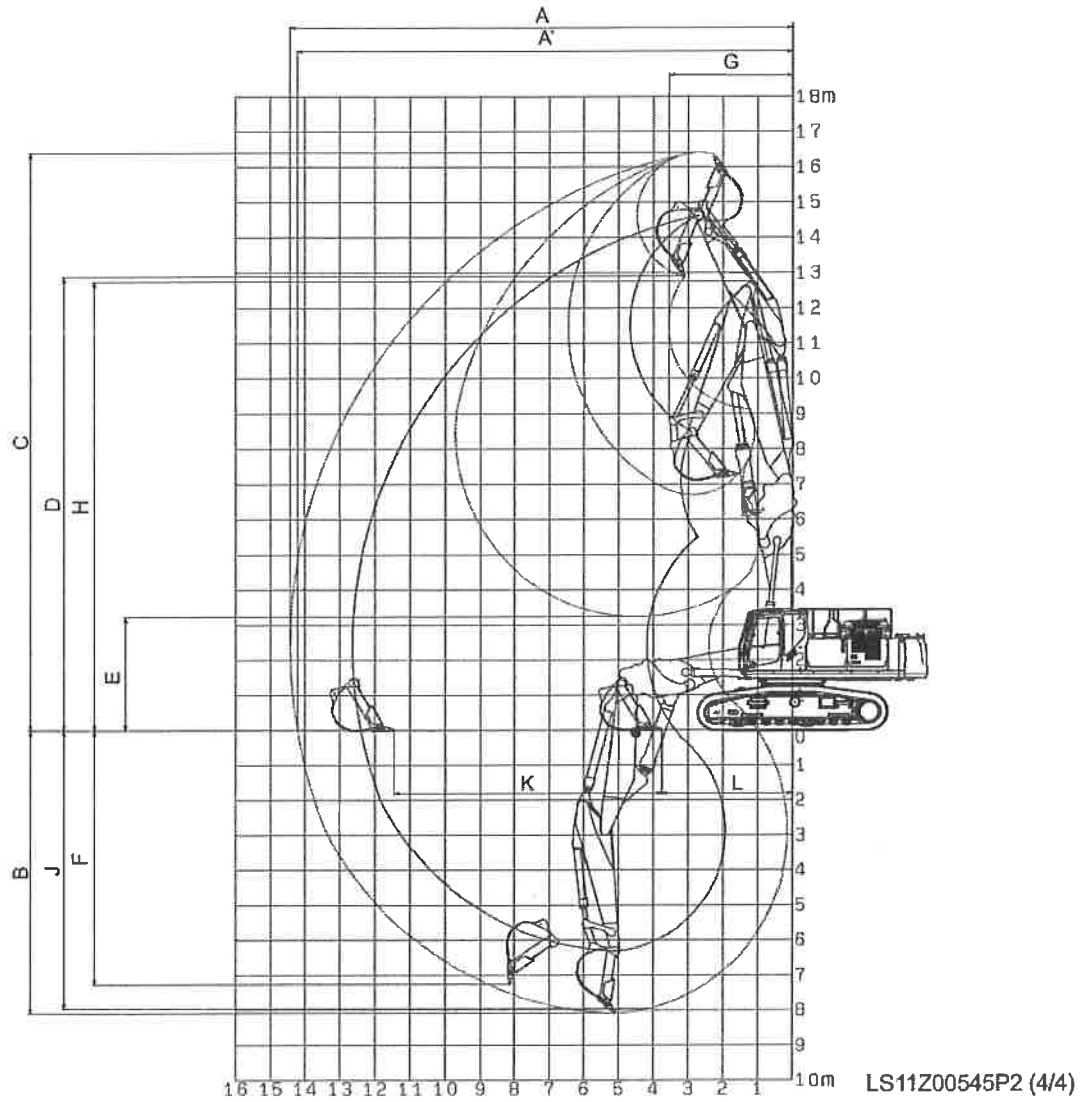
補足説明

- ・※印は、シュー突起36mmを含まない数値を示します。
- ・斜線部はキャブ干渉警報装置の警報域を示します。
- ・最大作業半径 (JIS A8340-4 付属書JC 長尺作業装置付き油圧ショベルの要求事項) は、作業範囲制限アラームの警告ブザーが連続吹鳴しない条件において、最も作業半径が大きくなるものを示します。
- ・姿勢によって安定度が異なるため、最大作業半径の内側でも警告ブザーが吹鳴する場合があります。

[6. 仕様編]

セパレートブーム仕様 (大径ジブシリンダ仕様)

3.95mメインブーム+0.75mフロントブーム+4.5mフロントブーム+3.45mアーム+1.9m³HDバケ
ト



LS11Z00545P2 (4/4)

名 称		単位: mm
A	最大掘削半径	14420
A'	広範囲最大掘削半径	14210
B	最大掘削深さ	8100
C	最大掘削高さ	16400
D	最大ダンプ高さ	12890
E	最小ダンプ高さ	3240
F	垂直掘深さ	7270
G	フロント最小旋回半径	3550
H	最小旋回時高さ	12760
J	8フィートレベル掘削深さ	7950
K	水平掘削距離	ストローク 7700
L		最小時 3750

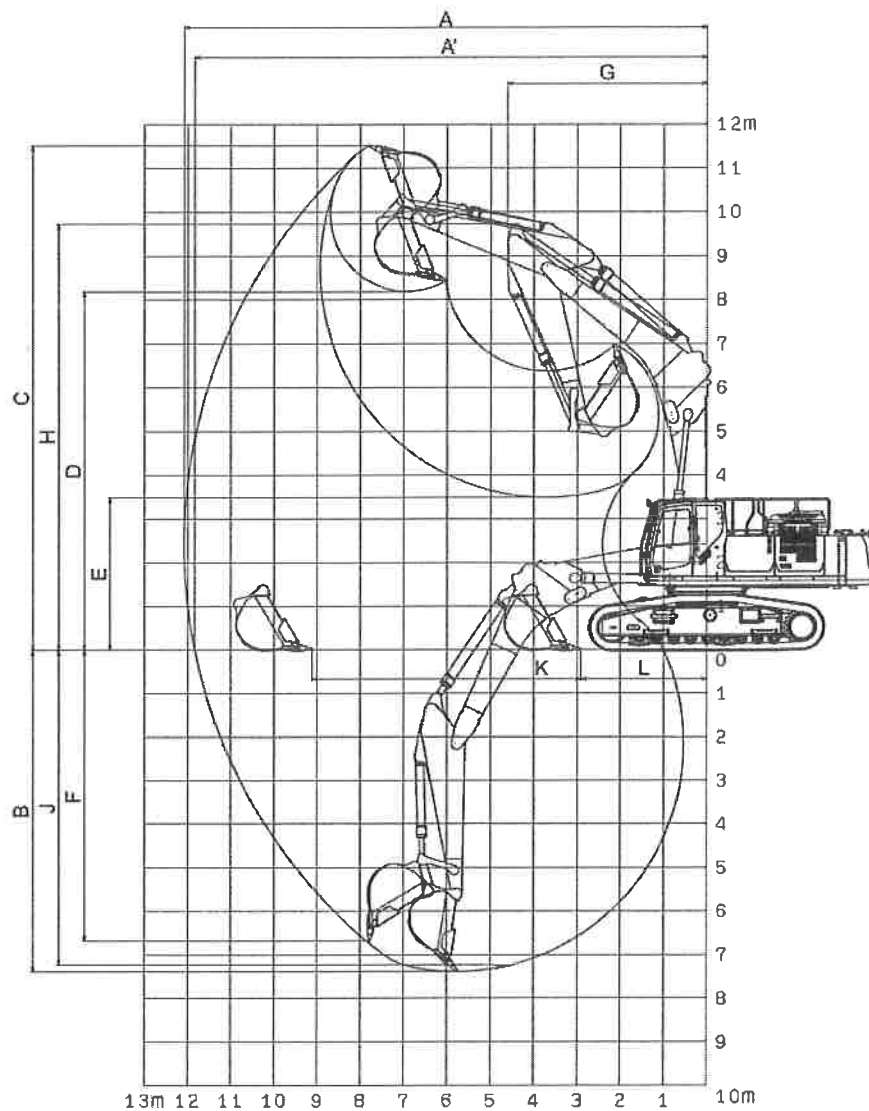
補足説明

- ・※印は、シュー突起36mmを含まない数値を示します。
- ・斜線部はキャブ干渉警報装置の警報域を示します。

6.3.3 バックホウ仕様

バックホウ仕様

3.95mメインブーム+4.1mフロントブーム+3.45mアーム+1.9m³HDバケット



名 称		仕様値	
A	最大掘削半径	12080	
A'	床面最大掘削半径	11830	
※	B	最大掘削深さ	7390
※	C	最大掘削高さ	11520
※	D	最大ダンプ高さ	8190
※	E	最小ダンプ高さ	3450
※	F	垂直掘深さ	6680
※	G	フロント最小掘削半径	4620
※	H	最小掘削高さ	9730
※	J	8フィートレベル掘削深さ	7240
	K	水平掘削距離	ストローク 6200
	L		最小径 2910

補足説明

・※印は、シュー突起36mmを含まない数値を示します。